

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 25 年 5 月 18 日 (土) 午後 2 時
開催会場	兼山公民館
班長	佐伯 哲也
司会者	佐伯 哲也
報告者	伊藤 健二 小川 富貴
記録者	出口 忠雄
参加者数	28 人
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・『三月定例会 可児市予算審議の経過報告』 ・『名鉄広見線新可児駅・御嵩駅間の存続問題への対応について』 ・質疑応答 ・意見交換
主な意見 提言等	<p>問) 本年度の予算で空き家・空き地対策に予算がついているが、議会としてどの様に考えているか？またこれによる人口増加はどの様にみているか？</p> <p>答) この事業は空き家・空き地を市の HP 等を使い紹介をするものだが、住宅リフォーム事業、無料の耐震診なども使い広く多くの方へ可児市への転居等を願うものである。市の方から人口増加について具体的な数値は出ていないが、議会としても注視していく。</p> <p>問) 可児市の目標や展望は議会としてどの様に考えているか？</p> <p>答) 可児市第四次総合計画が現在出ております。この内容は議会としても議決したもので、議員個々では様々な思いが有ると思いますが議会としてはこの総合計画が形になる様に進めております。</p> <p>問) 名鉄広見線存続に向けてはイベントよりも利便性の向上が必要なのでは？</p> <p>答) ご意見の通りではあるが路線区が非常に短い中、名鉄としても更なる投資をして利便性の向上を望むことは難しいと聞いている。</p> <p>問) 兼山地区にある水力発電所の電源立地地域対策交付金の明細を明らかにして欲しい。</p> <p>答) 使用目的を示して交付申請を行うものですので全て明確に出ており、兼山保育園の費用などに使われております。</p>

問) 兼山地区の商工会補助金が5年を掛けて100万円まで減らされる、また兼山地区のお祭りへの補助金も減らされている、議会としてなぜその様な発案をして行ったのか？

答) 提起や執行は市長が行い、その予算が適切かどうかを議会が議決しました。個々を見れば地域の皆様のご希望通りの予算では無い事もあると思う。全体の予算バランスの上現状の予算になっている。

問) 経済活性化としての企業誘致活動が近隣市町村と比べても不十分に見られるが？

答) 昨年、企業誘致推進制度が出来ましたがこれは近隣市町村の制度に並んではいるが特化したものではない。しかしながら、市としても関東圏などで開催される企業展に企業誘致のため出展をしたり、市長がトップセールスで企業回りもしている。今後、議会としても注視していく。

意見

昨今の集中豪雨の影響で兼山地区でも山崩れが発生している。市役所の担当部署も議員も危険箇所を注意深く見守り何かあった時には即対応をお願いしたい。

平成 25 年 5 月 27 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 兼山公民館会場 班長 佐伯 哲也

